

第1回 アドバイザリーボード（H30.9.11（火）開催）の概要

4つの経営理念	構成員の主な取組	主なアドバイス
1 経営層のリーダーシップ 2 安全への投資の促進	<ul style="list-style-type: none"> ●会長トップメッセージの発出 ●理事会、労働安全衛生部会等の開催 ●会員各社の実情に応じて、個別の年間計画等に反映 	<ul style="list-style-type: none"> ●トップリーダーが集まって、安全衛生の業界全体の方針を決める場の設置は好事例。 ●個社に任せるのではなく、団体が主導することも重要ではないか。
3 安全人材の育成や安全教育の拡充	<ul style="list-style-type: none"> ●「産業安全塾」、各種研修会の開催 ●経験年数の浅い作業員への安全対策の取組 	<ul style="list-style-type: none"> ●「産業安全塾」は、産・官・学が関係しており、人材育成のみならず、ネットワークづくりにも寄与しており、他業界でも参考にできる好事例。 ●経験年数の浅い作業員の安全対策は、どの業界も関心があるのではないか。他業界でも参考にできる好事例。
4 業界内外への共有	<ul style="list-style-type: none"> ●安全衛生大会の開催 ●管理監督者体験交流会等の開催 ●安全衛生に関する表彰制度 ●安全統計の作成 ●災害事例や要因分析の情報共有 	<ul style="list-style-type: none"> ●他企業の取組を業界内で共有することは好事例。今後は他業界への情報共有も考えてほしい。 ●安全表彰の事例を集めた「ベストプラクティス集」の発行は良い取組である。 ●事例や統計の分析結果の共有は重要である。

<総括>

- 「4つの経営理念」はよくできているので、じっくり、これら取組を行っていくことが重要であり、他業界の好取組を学ぶ場合は、非常に有意義なことである。
- 「安全に垣根なし」と言われるように、取組事例や分析結果の共有は、非常に重要なことであり、今後、積極的に行っていく。